



学校だより

加古川市立
川西小学校
9月特別号

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

今年度、4月18日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、児童・生徒の学校や家庭での学習状況（学習意欲、学習方法、生活の諸側面など）に関する調査と、小学生は「国語」「算数」、中学生は「国語」「数学」「英語」についての学力調査が行われました。

今回の調査結果は、川西小学校児童の学力の限られた一部分ではありますが、届いた結果を基に本校の現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。



小学6年生の学力調査では、国語と算数の2教科で、「生活に不可欠な知識や技能など」に関する問題と、「知識や技能を活用する力や、課題解決力など」に関する問題が出題されました。それぞれの教科の調査結果から、川西小学校の児童の学力について、以下のような特徴が見られました。

国語

☆概ね力がついていること

- ・漢字を文の中で正しく使うこと
- ・文章の中から目的に応じた必要な情報を選び、まとめること
- ・聞いたことを基に分からない点や確かめたい点を質問すること
- ・話し手の考えと自分の考えとを比較して自分の考えをまとめること



☆これから力をつけていきたいこと

- ・原因と結果など情報と情報の関係について理解して使うこと
- ・図表やグラフを用いて、書き表し方を工夫すること

算数

☆概ね力がついていること

- ・伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を考えること
- ・正方形の意味や性質について理解すること
- ・（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること
- ・小数の加法や乗法を用いて問題を解決すること
- ・複数のグラフから、データの特徴を捉えること
- ・目的に応じたデータを集め、特徴や傾向を読み取ること



☆これから力をつけていきたいこと

- ・図形の性質を基に、角の大きさを求めること
- ・基本図形の面積の公式を理解し、活用できるようにすること

生活実態調査は、「児童質問紙」として全59項目の質問によって行われ、全ての項目の回答結果について考察しました。その中で特徴的な項目については以下ようになります。

生活・学習の状況

- ・「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時間に起きていますか」の質問に対して、数名の児童が「全くしていない」と回答しています。
- ・「学校の授業時間以外に、どのくらいの時間勉強をしますか」の質問に、「全くしない～30分未満」という回答が、平日は約20%、休日は約60%ありました。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に、約30%の児童が「あまりあてはまらない・あてはまらない」と回答しています。

帰宅後の時間をどのように過ごしているのかについては、各家庭の状況によって違うと思いますが、生活面の乱れがあると学習に対する集中力も低下すると考えられます。児童が主体的に自らの生活や学習の計画を立て、落ち着いた生活を過ごせるように、お子様と一緒に家庭での過ごし方を見直し、引き続き見守りをお願いします。

- ・「自分には良いところがある」「将来の夢を持っている」と回答した児童は約80%、「人の役に立つ人間になりたい」との回答は約90%です。
- ・地域の行事に進んで参加している児童が多く、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した児童は約85%でした。
- ・「人が困っているときには、進んで助けている」と回答した児童が約90%で、本校の昨年の結果と比べて増加しています。しかし、約10%の児童は、困っている人を助けることに対して否定的な回答をしています。

川西小学校の児童は、自己有用感が高く、友人関係にも満足している児童が多い事がわかります。しかし、一部の児童には否定的な回答が見られることから、学校や地域での人とかかわりを通して、自己有用感や思いやりを更に高められればと思います。

学校では、生活場面や学習場面、児童会活動（川西フェスティバル、大なわ大会など）の行事を通して、引き続き人とかかわる活動に取り組んでいきます。ご家庭でも、様々な地域活動に参加して、豊かな体験・経験ができるよう、ご協力をお願いします。

川西小学校の校訓「みんなでみんなを」にあるように、人とかかわり合いながら、思いやりとたくましさを備えた主体性のある児童の育成をめざしていきます。川西コミュニティースクールとして、学校と家庭、地域が連携して地域総がかりの教育を進めたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

国語科、算数科ともに、学習内容の習得について概ね良好でした。国語科では、情報の扱い方や図表などの活用、算数科では、図形の性質や面積の公式の活用に関して課題が見られました。川西小学校では、以前から「主体的・対話的な学習活動」を目指して、各教科で話し合い活動やICT機器の活用を進めています。今回の結果では、国語科「話すこと・聞くこと」の領域で取組の成果が見られましたが、一方で、「自分の考えを整理して書くこと」や「基本図形の面積の公式を理解し、活用できるようにすること」などについて課題が明らかになりました。

今後の学習においては、引き続き、話し合い活動を授業に取り入れながら、目的や意図に応じて表現（書いたり、伝えたり）する活動に取り組んでいきます。